

高齢者の 交通事故を防止



八日市場警察署
市原 交通課長

昨年、八日市場警察署管内では、交通事故により15人もの尊い命が失われ、その内8人の方が高齢者でありました。

交通事故被害の中にも高齢化社会の現象が色濃く反映されています。

この高齢者被害の実態を見ますと、

- 信号無視によるもの（歩行者・自転車）
- 一時停止をしないもの（自転車）
- 横断歩道以外又は車両の直前直後の無理な横断によるもの（歩行者・自転車）

など基本的な交通ルールの無視によるものが目立ち、夕方などの薄暗い時間帯に集中して発生しているのが特徴であります。

「まだ、渡れるだろう」

「車は止まってくれらるだろう」

「この位は避けられるだろう」

といった安易な気持ちで行動することが、重大事故につながることをご理解頂きたいのであります。

そこで交通事故被害に遭わないためには、

○交差点やその付近では、特に車などの動きに十分注意し、交通ルールを守る

○薄暗い時間帯や夜間の外出は、目立ちやすい「白っぽい服装」で外出する。

○体調が悪いときは、外出や運転は差し控える

ことが大切であります。

最後になりますが、高齢化社会における交通事故防

止は、ドライバーをはじめ、地域や家族ぐるみで、高齢者に対する「思いやり」活動を推進していくことが、安全で健全な社会を築く原点ではないかと思えます。

今後とも、交通安全にご協力をよろしくお願い致します。

自ら身を守る 心がけも大事です

あなたの 安全度チェック

歩くとき

○外出時は黒っぽい服装は避け、明るい色合いにしている。

- 「あぶない」と注意されたことは、1度もない。
- 押しボタン式信号機の操作を知っている。
- 横断するとき手を上げてさえいれば安全などとは思わない。

自転車にのるとき

- 自転車の点検はよくしている。
- せまい道では車とすれ違う場合は、おりて車の通過を待つ。
- 夜間はなるべく乗らない。
- 曲がり角ではいったん止まる。
- 自転車に乗って犬の散歩をさせたりしない。
- 酒を飲んだときは絶対に乗らない。

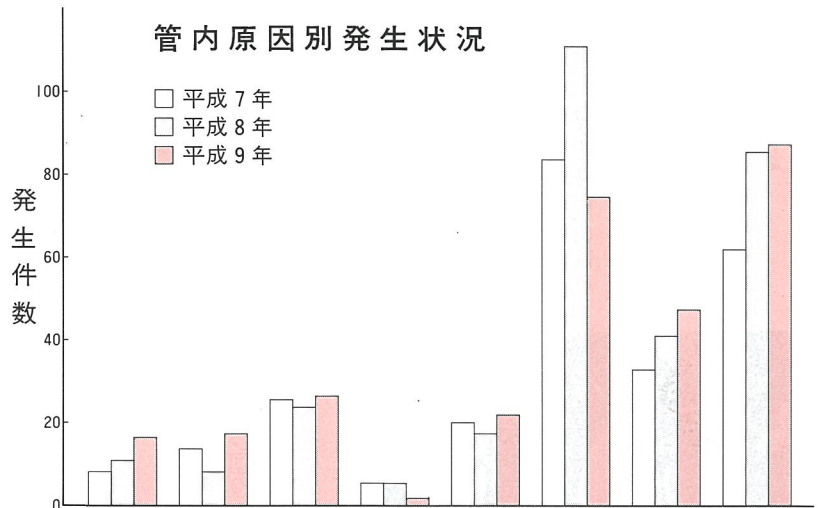
「はい」が多いほど安全度が高い。

夜間に歩いたり、自転車に乗ったりするときは、反射材用品の利用を



75歳以上のドライバーは、自動車に「高齢運転者標識(もみじマーク)」をつけましょう

管内原因別発生状況



「チャレンジ・アンダー400」 「ストップ・ザ・ぼろそう作戦」

県警では本年中に交通事故死者を400人以下に抑えることを目標とし、千葉県（房総）での暴走運転（スピード等無謀運転）にストップをかけることを目的に、

本部交通機動隊及び自動車警ら隊による合同活動、交通部員による支援活動等各種の交通事故抑止活動を展開します。